

社会資本総合整備計画(防災・安全交付金)

計画の名称	安全・安心のまちづくりを支援する道路および環境整備(防災・安全)		
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)		
交付対象	津山市		
計画の目標	・歩道整備等による道路環境整備を行い、交通の円滑化、自転車・歩行者の安全・安心を確保する。 ・老朽化が進む道路ストックを適切に管理することにより、道路利用者の安全性を高めるもの。		
計画の成果目標(定量的指標)	・自転車・歩行者の通行における交通難所6箇所を解消 ・事故対策により死傷事故件数を概ね2割減少		
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
	当初現況値	中間目標値	最終目標値
	(H27当初)	(H29末)	(H31末)
自転車・歩行者通行における交通難所の解消箇所数	—	2箇所	6箇所
事故対策による死傷事故件数の減少割合 (死傷事故減少率) $\text{死傷事故減少率} = (\text{整備前死傷事故件数} - \text{整備後死傷事故件数}) / (\text{整備前死傷事故件数})$	—	1割減少	2割減少

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：安全・安心のまちづくりを支援する道路および環境整備(防災・安全)

事業主体名：津山市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 上位計画との整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえた計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
2) 定量的指標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 定量的指標が分かりやすいものとなっている。	○
4) 基幹事業と関連事業・効果促進事業の一体性が確保されている。	○
②事業の効果	
1) 事業実施により、十分な事業効果が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性	
①計画の具体性	
1) 事業費・事業内容が適切に設定されている。	○
②円滑な事業執行の環境	
1) 熟度の高い箇所が設定されている。	○
2) 実施工程に則して事業実施期間が設定されている。	○